

平成 29 年度 第 1 回大台ヶ原の利用に関する協議会
議事概要

■ 日 時 平成 30 年 1 月 30 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30

■ 場 所 奈良商工会議所 地下 1 階 A 会議室

■ 出席者

<構成機関>

機 関	氏 名
国土交通省近畿運輸局	(ご欠席)
林野庁近畿中国森林管理局	三重森林管理署 落窪 弘行 地域林政調整官
奈良県地域振興部	(ご欠席)
奈良県くらし創造部景観・環境局	景観・自然環境課 佐野 正幸 係長 田垣内 政信
奈良県県土マネジメント部	道路管理課 道路管理係 谷口 さくら 主事 吉野土木事務所 用地管理課 中井 孝 主幹 吉野土木事務所 工務二課 上北山方面係 篠原 健一郎 係長
奈良県警察吉野警察署	(ご欠席)
三重県農林水産部	(ご欠席)
上北山村	地域振興課 安田 貴生 主幹
川上村	地域振興課 杉本 晃一 副課長
大台町	(ご欠席)
上北山村議会	(ご欠席)
上北山村観光協会	更谷 昌美 会長
上北山村漁業協同組合	(ご欠席)
上北山村区長会	(ご欠席)
上北山村商工会	中谷 守孝 会長 金岩 修平 経営指導員
上北山村山岳救助隊	(ご欠席)

奈良県猟友会上北山支部	(ご欠席)
財団法人 グリーンパークかわかみ	(ご欠席)
自然を返せ！市民連合会	田村 義彦
奈良県勤労者山岳連盟	高橋 円 自然保護委員長
奈良県山岳連盟	野田 健司 理事
近畿日本鉄道株式会社	企画統括部 観光・宣伝部 (大阪事業) 西中 正則 主査
一般社団法人 奈良県タクシー協会	吾妻 孝義 専務理事
奈良交通株式会社	(ご欠席)
公益社団法人 日本山岳会関西支部	自然保護委員会 斧田 一陽 理事 自然保護委員長
特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良	(ご欠席)
大台ヶ原パークボランティアの会	雲田 糺 会長
吉野きたやま森林組合	総務課 森岡 哲也 専務
一般社団法人 心湯治館	城内 勲 代表理事
ワーク 21 上北山	(ご欠席)
大台・大峯植生談話会	横田 岳人
三重県山岳連盟	東芝山岳会三重支部 根本 幹雄 代表理事
大阪府山岳連盟	(ご欠席)

<近畿地方環境事務所>

環境省近畿地方環境事務所	榎本 和久 国立公園課長 蒲池 紀之 自然再生企画官 川村 義治 生物多様性保全企画官 矢部 敦子 係員
吉野自然保護官事務所	菅野 康祐 自然保護官 小川 遥 自然保護官補佐

<オブザーバー>

株式会社環境総合テクノス	環境部 自然環境グループ 樋口 高志 マネージャー 樋口 香代 リーダー 大台ヶ原ビジターセンター 福嶋 千草 ふれあいコーディネーター
--------------	--

<業務受託者>

株式会社自然産業研究所	寺田 武徳 研究員 神村 裕之 研究員
-------------	------------------------

■ 議 事

(1) 大台ヶ原登録ガイド制度

(2) 利用に関する調査結果

- ① 大台ヶ原の利用動向及び西大台利用調整地区アンケートの結果
- ② 携帯トイレブース設置試行調査の結果
- ③ 秋期の利用集中期交通混雑緩和情報発信の結果

(3) 構成機関における取組

- ① 自然観察会の実施について（公益社団法人 日本山岳会関西支部）
- ② 西大台利用調整地区認定事務について（上北山村商工会）
- ③ 今後の復旧工事について（奈良県吉野土木事務所工務二課）
- ④ 冬期通行止めの解除について（奈良県吉野土木事務所用地管理課）
- ⑤ 谷水及び湧水の水質調査結果について（奈良県勤労者山岳連盟）
- ⑥ 大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団の取組について（林野庁近畿中国森林管理局 三重森林管理署）
- ⑦ 上北山村役場による大台ヶ原での取組について（上北山村 地域振興課）
- ⑧ エコツーリズムの取組について（川上村 地域振興課）
- ⑨ 大台ヶ原探勝日帰りきっぷについて（川上村 地域振興課）
- ⑩ 大杉谷登山道の利用状況について（大台町、大杉谷登山センター）
- ⑪ 西大台利用調整地区の携帯トイレブース設置について（特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良）

(4) 大台ヶ原における自然再生の取組

(5) その他

- ① 平成 30 年度の西大台利用調整地区の運用計画について（環境省近畿地方環境事務所）
- ② 大台ヶ原駐車場のトイレに設置されていたトイレチップについて（一般社団法人 心湯治館）
- ③ 多言語対応の看板設置について（上北山村観光協会）

■ 議事概要

(1) 大台ヶ原登録ガイド制度について

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）より平成 29 年度大台ヶ原登録ガイド第一次登録者と第 1 回講習会の概要、制度の運用状況と今後の実施計画について説明があった。

(2) 利用に関する調査結果

① 大台ヶ原の利用動向及び西大台利用調整地区アンケートの結果

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）より平成 29 年度の調査結果の概要について説明があった。

② 携帯トイレブース設置試行調査の結果

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）より平成 29 年度の調査結果の

概要について説明があった。なお、携帯トイレブース設置試行調査結果に基づく試算結果については、現在事務局にて他地域の事例なども参考に精査している段階であるため、暫定的なものとして説明された。

③ 秋期の利用集中期交通混雑緩和情報発信の結果

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）より平成 29 年度の調査結果の概要について説明があった。

(3) 構成機関における取組

① 冬期通行止めの解除について（奈良県吉野土木事務所用地管理課）

奈良県吉野土木事務所 用地管理課中井氏より、大台ヶ原ドライブウェイの冬期通行止めの期間や区間についての説明があった。

② 今後の復旧工事について（奈良県吉野土木事務所工務二課）

吉野土木事務所工務二課上北山方面係の篠原氏より、大台ヶ原ドライブウェイの損傷場所とその状況、今後の復旧予定について説明があった。

③ 西大台利用調整地区認定事務について（上北山村商工会）

上北山村商工会の金岩氏より、平成 29 年度の西大台利用調整地区認定事務とそれに付随する情報提供業務などについての説明があった。

④ 自然観察会の実施について（公益社団法人 日本山岳会関西支部）

公益社団法人 日本山岳会関西支部の斧田氏より、例年実施している自然観察会の平成 29 年度の実施結果と今後の予定について説明があった。

⑤ 西大台利用調整地区の携帯トイレブース設置について（特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良）

特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良が欠席のため、説明は行われなかった。

⑥ 大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団の取組について（林野庁近畿中国森林管理局三重森林管理署）

林野庁近畿中国森林管理局三重森林管理署の落窪氏より、大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団で実施している森林ボランティアについて、平成 29 年度の活動結果の説明と今後の実施への参加の呼びかけが行われた。

⑦ 上北山村役場による大台ヶ原での取組について（上北山村 地域振興課）

上北山村 地域振興課の安田氏より平成 29 年度のガイドウォークの結果についての説明と、平成 30 年度の「大台ヶ原山開き」「大台ヶ原マラソン」「大台ヶ原ヒルクライム」のスケジュールと上北山村が Youtube に投稿している動画の紹介があった。

⑧ エコツーリズムの取組について（川上村 地域振興課）

川上村 地域振興課の杉本氏より、川上村が推進する源流ツーリズムの取り組み方針と川上村で活動する地域おこし協力隊の活動状況についての説明があった。

⑨ 大台ヶ原探勝日帰りきっぷについて（近畿日本鉄道 企画統括部 観光・宣伝部）

近畿日本鉄道株式会社の西中氏より、大台ヶ原探勝日帰りきっぷの平成 29 年度の発売状況と平成 30 年度の発売の見通しについて説明があった。

⑩ 大杉谷登山道の利用状況について（大台町、大杉谷登山センター）

大台町産業課が欠席のため、事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 矢部）より平成 29 年度の大杉谷登山道の利用状況について説明があった。

⑪ 谷水及び湧水の水質調査結果について（奈良県勤労者山岳連盟）

奈良県勤労者山岳連盟の高橋氏より、これまで行われてきたシオカラ谷のつり橋付近と日出ヶ岳付近の湧水の水質調査結果について説明があった。

質疑応答では、調査結果に基づく奈良県勤労者山岳連盟の対応について質問があり、奈良県勤労者山岳連盟からは、公園利用者が飲まないよう周知するように地元自治体へ働きかけたりしているとの回答があった。

⑫ 大台ヶ原の適正な利用の推進、自然再生の周知等の取組について（環境省近畿地方環境事務所）

大台ヶ原の適正な利用の推進、自然再生の周知等の取組として、事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 矢部）より、平成 29 年度取り組んだビジターセンターのリーフレットの英訳、公衆無線 LAN の整備、アクティブレンジャーが行った自然観察会などの結果について説明があった。

（４）大台ヶ原における自然再生の取組

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 矢部）より、環境省で実施している平成 29 年度の自然再生の取り組みとして、防鹿柵等の設置や野生動物の生息調査などの結果について報告があった。ニホンジカの捕獲について、平成 29 年度は新たに捕獲範囲を広げたが、平成 30 年度以降も継続していくことを予定している。また、ツキノワグマの生息調査も実施しており、最低でも 4 個体が大台ヶ原を利用していることが確認できたと報告された。また、モグラなどのトガリネズミ目の小型哺乳類の生息数が増加していることから、大台ヶ原の下層植生が再生している可能性があることが説明された。

質疑応答では、下層植生が回復しているのは、防鹿柵の中のみであることから、小型哺乳類の個体数増加と下層植生の回復との関連は慎重に精査すべきとの意見が出された。

（５）その他

① 平成 30 年度の西大台利用調整地区の運用計画について（環境省近畿地方環境事務所）

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）より、平成 30 年度の西大台利用調整地区の運用計画に関して、対象期間や立ち入り人数の上限、認定やレクチャー、巡視やモニタリング、普及啓発の取り組みについて説明があった。

質疑応答では、「梅雨の時期は植生保全の観点から利用集中期から除外してほしい。」「ポスターなどに表記されている西大台という名称について、利用者の理解が進んでいないことから、説明を整理してほしい。」「立ち入り認定は、天候を理由としてスケジュールを変更することができないことに苦情が寄せられているため、利用者に配慮した柔軟な制度を求め。」との要望が寄せられた。

事務局からは、利用集中期の扱いと西大台の説明については事務局にて検討するとの回答があった。

立ち入り認定は事務手続きの費用として求めているものであり、利用者の責によらないことについては、無料で1回の変更が可能であるが、今後制度の細部については見直しを進めている旨の回答があった。

② 大台ヶ原駐車場のトイレに設置されていたトイレチップについて（一般社団法人心湯治館）

一般社団法人心湯治館の城内氏より、昨年度まで大台ヶ原駐車場のトイレに設置されていたトイレチップの収益約200万円/年の使途について、明確にする必要があるとの問題提起がなされた。また、受益者負担という観点としては、トイレチップは継続していくことが良いのではないかとの意見も寄せられた。

上北山村観光協会の更谷氏より、事実関係についての説明があった。

③ 多言語対応の看板設置について（上北山村観光協会）

上北山村観光協会の更谷氏より、近年増加傾向にある外国人観光客向けとして4か国語（中国語、韓国語、英語、日本語）対応の案内看板を設置してはどうかとの意見が寄せられた。

事務局（近畿地方環境事務所国立公園課 蒲池）よりは、昨年度にビジターセンターに設置するパンフレットの英語版を制作したことが報告された。

以上